

熊本大学広報誌

# 熊大通信

vol. 69  
2018 SUMMER

特集Ⅰ

## 明日への一歩。

進み続ける熊大の研究成果

特集Ⅱ

こんな使い方、知ってますか？

## 熊大図書館の歩き方

学生企画

センパイたちに聞いた

グローバルリーダーコース

## GLCのミリョク！

Takumi, m.





自分の言葉ばかりで  
物を言うようになったとき、  
人は初めて真の自分を獲得し、  
自分を全肯定できるのだ

— 中野孝次 (小説家)

## 熊大で生きる君たちへ

### 赤門と黒髪キャンパス

平成28年熊本地震では、国の重要文化財に指定されている、五高の表門(通称赤門)も被害を受けた。平成30年3月に修復工事が終わり、元の美しい姿を取り戻した。

赤門を通して五高に通った卒業生の一人に『ハラスのいた日々』、『清貧の思想』で知られる小説家・ドイツ文学者、中野孝次がいる。「文藝春秋(2002年9月臨時増刊号)『美しい日本語』特集」の「学んで手に入れるもの」と題した寄稿では、「無駄に見えた時間も、自己獲得のためには必要な時間だった」という言葉とともに、自分の思いを述べている。

## CONTENTS

- 03 特集Ⅰ 明日への一歩。進み続ける熊大の研究成果
- 11 研究室探訪 法律が、その目的を果たしているか。データ分析で明らかにする法社会学  
法学部  
森 大輔 准教授
- 13 特集Ⅱ こんな使い方、知ってますか？  
熊大図書館の歩き方
- 15 学生企画 センパイたちに聞いた  
GLCのミリョク！
- 17 卒業生ジャーナル
- 19 KUMADAI TOPICS
- 22 熊本大学基金よりお知らせ

表紙 / 【原画】松永 拓己 / 大学院教育学研究科 准教授  
青葉若葉の黒髪北キャンパスと熊本大学附属図書館

### 熊本大学広報誌 熊大通信 vol.69

\*皆さまの意見・ご感想をお寄せください。

【発行】国立大学法人熊本大学  
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1  
Tel.096-342-3119 Fax.096-342-3110  
sos-koho@jimu.kumamoto-u.ac.jp

【編集】熊大通信編集委員会  
大日方信春 / 委員長 大学院人文社会科学研究所 (法学系)  
茂木 俊伸 / 大学院人文社会科学研究所 (文学系)  
松永 拓己 / 大学院教育学研究科  
河野憲一郎 / 大学院人文社会科学研究所 (法学系)  
木村 弘信 / 大学院先端科学研究所 (理学系)  
川島扶美子 / 大学院先端科学研究所 (工学系)  
永田まなみ / 大学院生命科学研究所 (薬学系)  
首藤 剛 / 大学院生命科学研究所 (薬学系)  
後藤 正三 / 総務部総務課広報戦略室

【制作】株式会社 談



# 音楽が持つ万能のエネルギー。 その力をもっと社会に

文学部

東京芸術大学大学院音楽研究科  
音楽学専門課程修了。昭和55  
年熊本大学へ。専門は西洋音楽  
史、音楽療法理論。近年はコミュ  
ニティ音楽療法の実践と理論化  
に力を入れている。日本音楽療  
法学会認定音楽療法士。

大学院人文社会科学部  
研究部 (文学系)

教授  
**木村 博子**  
Hiroko Kimura



障がい者や高齢者、  
子どもや地域  
さまざまな対象を支援

広い領域を持つ音楽学の中  
で、主に音楽史を専門とする  
木村博子教授。現在は、40代  
の頃に出会ったという「音楽療法」  
も研究しています。「障がいや病  
気など、生きる上で何らかの困難  
を抱えた方々を、音を使ってサ  
ポートするのが音楽療法です。そ  
の理論を研究しながら、これまで  
の音楽学の知見とあわせ、新しい  
音楽療

法の形を目指しています」。音楽療法は、  
高齢者の認知症予防や精神疾患を抱  
えた方のQOLの向上、障がいのある  
子どもたちの発達促進、緩和ケアな  
どに取り入れられています。このほ  
か音楽を通して多様な人々との共  
生をめざし、誰もが生きやすい社  
会を作ろうとするコミュニティ音楽  
療法もあります。「音楽には、万  
能のエネルギーがある」と木村教  
授。私たちが意識していない大き  
な可能性が音楽には秘められてい  
ます。

音楽療法実践を通して  
人生の糧となる4年間を

「コミュニティ音楽療法の実践を、  
木村教授は熊本大学近くの子飼  
い地域で行っています。「高齢者  
の方々が買い物途中に立ち寄っ  
て、好きな歌を歌い、おしゃべ  
りをしていく」という場所です」  
。今では60人を超える高齢者  
が参加しています。引きこもり  
がちな高齢者も、実は「その文  
化力はずいぶん高い。それを発  
信しないのはもったいないです」  
と木村教授。学生たちには「高

齢者の方々にいい時間を過ご  
していただく、というのが最  
重要課題。どうすれば皆さん  
が安全に楽しく過ごせるかを、  
常に観察し、考え、行動しな  
さいと話しています。集まりの  
後には必ずミーティングを  
実施し、次のプログラム作  
成につなげます。音楽療法の  
実践を通して、学生たちには、  
相手のニーズをしっかり読み  
取り、すぐに行動できる力を  
養ってほしい。大学の4年間  
がその後の人生にとって意味  
のあるものとなるように、が  
んばってほしいと思います」。

# 明日への一歩。



## 進み続ける熊大の研究成果

熊本大学では、多くの研究者が  
さまざまな研究成果をあげています。  
未来につながる研究として注目され、  
輝いている女性研究者をご紹介します。

### 私のリフレッシュ法！

愛犬に、愛猫が加わりました。  
気まぐれな猫の魅力にはまり  
つつあります。





# 急成長した韓国経済。 その構造を追うと日本理解も深化する

法学部



大学院人文社会科学研究所  
(法学系)

教授  
**吉岡 英美**  
Hidemi Yoshioka

平成16年に京都大学大学院経済学研究科博士後期課程を修了後、九州大学大学院経済学研究院を経て、平成20年に熊本大学法学部に赴任。法学部では「国際経済論」「経済政策」の講義を担当。専門は韓国経済・アジア経済。

## 決断力と大胆さが 日本との違い

隣国ながら、近くて遠い国とも言われる韓国。吉岡英美教授は、そんな韓国の経済を専門に研究しています。「1965年の日韓国交正常化を機に日本から多くを学んだ韓国の産業構造は、日本とよく似ています。たとえば、日本も韓国も製造業重視。中でも自動車やエレクトロニクスが経済をけん引してきました。一方で、「韓国の企業は財閥系でトップダウン型。何千億

円という投資が必要な場合も、トップがやると言えばやる。だから、対応と変化がスピーディです。日本に学びつつも、日本企業とは違う考え方や仕組みで急速に発展した韓国経済。かつて日本が圧倒的な世界シェアを誇っていた半導体メモリも、今や韓国に大きな差を付けられています。「対応の早さ、決断力、大胆さが韓国企業の特徴。それが半導体をはじめとする製造業の発展にうまく合っていると言えます」。

しかし、あまりにも短期間で

で経済成長を遂げたゆえの問題も見えてきているそうです。韓国では少子高齢化や経済格差が日本より顕著で、社会保障制度も十分ではありません。また、すぐに成果の出ることを優先する社会では、基礎研究が後回しになりがち。「そつすると、自分たちで新しい製品や産業を創り出すことが難しいという問題も起ります。基礎研究はすぐには役に立ちませんが、社会が変化して課題が発生したときに、意味が生まれることもあるんです」。

あるんです」。

## 知的体力を身につけて

熊本大学では法学部で経済学も学びます。「法律も政治も経済も、同じ社会科学。経済学を通して、問いを立て、分析し、説得的に結論を出すという学問の作法と、専門書を読み解く苦勞を通して、足腰を鍛えるように知的体力を身につけてほしい」と吉岡教授。「そつやって、今まで気づいていなかった世の中の仕組みや動きが見えた時には鳥肌が立つ。学生にはそんな経験をしてほしいですね」。

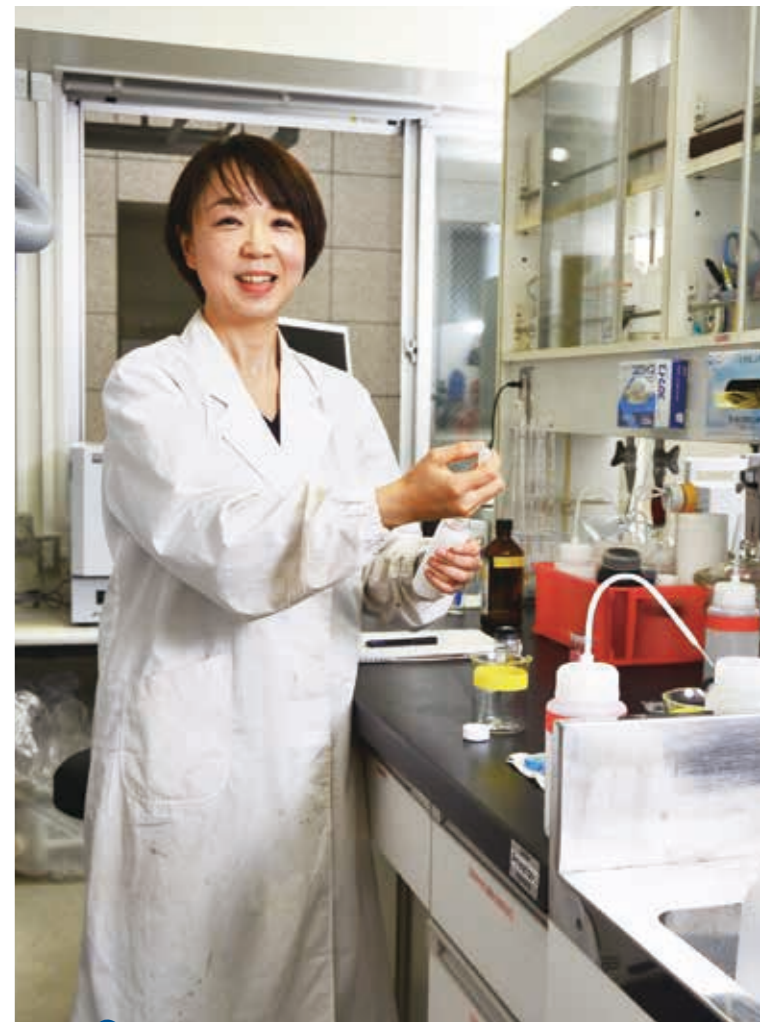
# 進化するナノテクノロジー。 その一翼を担う二次元材料を作り出す

理学部

大学院先端科学研究部  
(理学系)

助教  
**船津 麻美**  
Asami Funatsu

熊本大学大学院自然科学研究科産業創造工学専攻博士後期課程修了後、平成28年より熊本大学大学院自然科学研究科へ。専門は無機材料化学で、無機ナノシート(二次元材料)を中心に研究を進めている。



## デバイスをもっともっと 小さくできる

さまざまなデバイスがどんどん小さくなる現代、それを支えるのがナノテクノロジーです。船津麻美助教の研究の中心は、厚さが約1ナノメートルで、横方向の長さはその数百倍という、ナノシートと呼ばれる二次元材料です。「いわば、ペラペラの紙のようなもの。材料は基本的に、どんな小さな物質でも丸や角形など厚みがありますが、私が作っている材料は厚さがあり

ません。究極の表面からなる材料と言ったことができます。現在の材料と同じ素材・機能をも持ちながら、極薄となれば、いろいろなデバイスを今後ますます小さくできるだけでなく、薄さももたらす柔軟性を活用した幅広い用途が期待できます。また、特性や機能性といった面でも、ナノシートは、他材料に比べ構造由来の大きな比表面積などから、興味深い結果が確認されつつあり、さらなる可能性が期待されています」。

待たされています」。

## 毎日違う反応 その発見にも喜び

基礎研究が中心の理学部ながら、その研究内容は工学部のものづくり的な要素も含まれます。「さまざまな用途に使える可能性を秘めている、ナノシートのメカニズムを解明がすことが目標の一つ。理論を解き明かした先にもものづくりがあり、基礎と応用の両方がミックスされているところがこの研究のおもしろさだと思います」。

「研究は、毎日が違うこと

の連続。同じように材料を合成しても、毎回反応に違いがあり、新しい事を知る喜びがあります。二次元の定義に当てはまる材料を作ることには簡単ではありません。しかし、狙ったものができた時の達成感は、それまでの苦勞を忘れず」。研究室の学生とは、朝から晩までずっと一緒に船津助教。「学生たちには、「早く自分とは何かを見つけて、自分らしく幸せでいられる仕事と環境を見つけてね」と話しています」。

と話しています」。

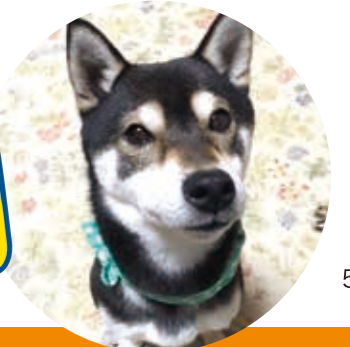
## 私のリフレッシュ法!

佐世保にある店からお取り寄せするコーヒーでリフレッシュ。大好きな小石原焼で味わっています。



## 私のリフレッシュ法!

豆柴のウィルと過ごす時間が大好き。愛犬のエサを買うために仕事をしていると言ってもいいくらいです。





# 小さなネズミが秘める大きな可能性が 人間の未来を変える

医学部



ハダカデバネズミ

平成22年京都大学大学院医学研究科博士課程修了(山中伸弥・岡野栄之両教授に師事)。慶應義塾大学医学部生理学・特別研究助教、日本学術振興会特別研究員SPD、科学技術振興機構さきがけ専任研究者等を経て、平成29年より熊本大学へ。

大学院先導機構

准教授  
**三浦 恭子**  
Kyoko Miura

## 私のリフレッシュ法!

甘酒にはまっていて、熊本大学着任後もいろいろ飲んでます。熊本は、おいしい甘酒が多いですね。



**夢のガン耐性と老化耐性を持つハダカデバネズミ**  
一般的なマウスと比べ、寿命が10倍の約30年。しかも、ほとんどガンにならないガン化耐性と、老化がとても遅い老化耐性を持つハダカデバネズミ。そんなハダカデバネズミの日本唯一の研究室を率いているのが三浦恭子准教授です。  
「平成28年、ハダカデバネズミからiPS細胞を作り出した。iPS細胞は、未分化

の状態です。体内に移植すると腫瘍化するという特徴があります。しかし、ハダカデバネズミから作製したiPS細胞は、ガン遺伝子が不活性化し、ガン抑制遺伝子が活性化しており、腫瘍化する能力を持たないことがわかりました。これは、ハダカデバネズミのガン化耐性のごく一部だと三浦准教授。「ハダカデバネズミにガン化耐性、老化耐性があるのがわかったのは2000年代に入ってから。まだわかっていないことが多い研究です」。

**「死ぬ直前まで元気に」健康寿命の延伸に期待**  
京都大学の山中伸弥教授のもとでiPS細胞の研究を行っていた三浦准教授。あまり研究されておらず、人に役立つ機能を持つ動物を研究したいと考えて、今のテーマに行きついたそうです。「ハダカデバネズミのガンと老化耐性のメカニズム解明はガンや老化予防薬の開発につながります。ハダカデバネズミを新しいモデル動物とする研究基盤も確立したいです」と話し

ます。「熊本大学は、健康長寿代謝制御研究センターやモデルマウスの卓越した研究技術基盤を持つ生命資源研究支援センター、発生医学研究所などと、私の目標を達成できる環境が整っています」。  
現在のハダカデバネズミ研究は「萌芽期」。「学部生もウエルカムです。研究室に気軽にアクセスしてほしい。勉強会もやっているし、実験に参加することも可能。おもしろいと思うことに躊躇せずには挑戦し、やりきる、ということを大切にしてほしいですね」。

# 家政学の成立を追い、 家政学研究的今と未来を創り出す

教育学部

お茶の水女子大学大学院家政学研究科修了。博士(学術)。熊本県立熊本農業高校での家庭科教諭を勤めた後、尚綱短期大学を経て熊本大学教育学部へ。現在は、附属特別支援学校校長も併任している。双子の高校3年生の母でもある。

大学院教育学研究科

教授  
**八幡(谷口) 彩子**  
Ayako Yahata-Taniguchi



**暮らしやすい生活の実現を追求する家政学**

家政学とは、家庭や家族を中心に、暮らしやすい生活を実現するためにどのような環境を整えていけばいいのかを追究する学問です。「環境とは、人間の生活環境すべて。たとえば、育児や高齢者問題の解決のためには社会的サポートを考えるべきだし、食物の安全を考えるなら世界を視野にいれる必要があります。分野の枠はかなり広い学問なん

です」と八幡彩子教授は話します。

家政学には食物学や被服学などの分野がありますが、八幡教授の専門は家政学原論。日本の家政学の歴史を中心に、近代家政学の発祥地であるアメリカの家政学とのかわりなどを研究しています。

**家政学史を理解して家族のあり方を考える**  
八幡教授のもとには、中学校の家庭科教師を目指す学生たちがやってきました。「教職のプロフェッショナルになるための勉強に重点を置かなければいけません。しかし、家政学史を通して、子どもたちに、今後のよりよい家族のあり方を考えるきっかけをなげかけてほしいですね。そのためのテーマはなんでもいいんです。環境が大事だと思っながら環境に配慮した人間生活に

ついて、食が大事だと思うなら食生活のことをしっかり伝えて、家族のあり方を考えてほしいです」。また、一つの学問を究めるという方法論が身につけば、教師になったあとに、これからの家庭科を提案する力にもつながっていくとも言います。

## 私のリフレッシュ法!

古書店で入手した江戸・明治時代の女性向けの指南書。家事に関する教科書のようなものです。江戸時代代のは挿絵が美しかったり、明治時代代のは和洋折衷だったり。時代を反映しています。





# 過酷な環境下でのモニタリングを 可能にする新しい圧電材料

工学部

**工業にも医療にも。応用範囲は無限**  
小林牧子准教授の専門は、圧電材料。圧力を電気に変えられる物質で、超音波センサーや振動センサーなどに応用されています。「私が研究している圧電材料は、二種類の材料を組み合わせた複合型。ポリマーを使っていないので高温などの過酷な環境に耐えやすく、人が入ることができないような場所でも使えます」と小林准教授。たとえば原子力

発電所のような、人の出入りに制限があり、配管の腐食などを常時徹底してモニタリングしなければいけないところに使われます。また、空気を含んでいるためノイズを遮断し、振動をクリアに検知しやすいのも特長。「薄いので配管に貼り付けられるし、10年たっても壊れず堅牢、安価で大量生産も可能です」。あらゆるところにセンサーが活用されている今、小林准教授が開発した圧電材料には工業、医療を含め多様な分野から期待が高まっています。

**試行錯誤する、その努力に価値がある**  
小林准教授がこの研究を始めた動機は、「高温で使えるセンサーがなくて、何度まで耐えられる圧電材料をつくることができるかな、という純粋な興味」でした。「何か人の役に立つものをつくるという気持ちも大事ですが、やっぱり好奇心は重要。とりあえずつくってみたら役に立った、ということもあるわけです」と話します。

興味から始まり、計画し、実行し、検証してまた新たな実験に取り組む。「期限もお金も制約された中でいかに努力するかを学びます。失敗してもいい」。試行錯誤して、成功したり失敗したりしつつも、何かを達成した、その経験自体がすごいことだと小林准教授。その経験を得た学生は、エンジニアだろうと違う道だろうと、へこたれることはありません、と力強く語ってくれました。



大学院先端科学研究部 (工学系)  
准教授  
**小林 牧子**  
Makiko Kobayashi

平成11年千葉大学修士課程修了、平成16年カナダ・マギル大学博士課程修了。マギル大学非常勤教授などを経て、平成24年熊本大学へ。専門は圧電材料とその応用。平成28年第1子を出産。平成29年1月より復帰。

## 私のリフレッシュ法!

いろんなダイエット器具(バランスボールなど)が学科事務室に置いてあります。ダイエットはなかなか成功しませんが(笑)。



# 動きが制御できれば 薬はより有効で安全になる

薬学部

**有効成分の無駄と副作用を軽減する薬物送達学**

私たちが服用した薬は、体内で移動し、私たちがもともと持っている代謝や排泄の機能に影響を受けます。効果が発揮される前に代謝され、排泄されれば、せっかくの薬が十分に活かされないだけでなく、副作用のリスクも伴います。そこで、薬の体内での動態をコントロールすることで、より効果的な薬の開発につながる研究を行っているのが今井

薬学部

特任教授

**今井 輝子**

Teruko Imai

熊本大学大学院薬学研究科修士課程修了。熊本大学薬学部で教務職員として勤務しながら、昭和63年に九州大学から薬学博士を授与。平成11年より特任教授。現在の薬物送達学研究室での研究テーマは「代謝を利用した創薬」。



輝子特任教授です。「研究の柱は、プロドラッグとアンテドラッグ。プロドラッグは有効成分を無駄にしないよう、患部に届いてから代謝されるように設計されています。アンテドラッグは、患部で効果を発揮したあとすぐに代謝され、不活性になるもの、そうなることで副作用が軽減されます」。今井特任教授の研究の中心は、薬の動態にかかわる酵素の役割の解明。どの酵素を利用すれば分解させられ、どの酵素なら活性化させら

れるかが大きなテーマです。輝子特任教授です。「研究の柱は、プロドラッグとアンテドラッグ。プロドラッグは有効成分を無駄にしないよう、患部に届いてから代謝されるように設計されています。アンテドラッグは、患部で効果を発揮したあとすぐに代謝され、不活性になるもの、そうなることで副作用が軽減されます」。今井特任教授の研究の中心は、薬の動態にかかわる酵素の役割の解明。どの酵素を利用すれば分解させられ、どの酵素なら活性化させら

「こんな機能があつたのか!」  
**新発見が次につながる醍醐味**  
今井特任教授の研究分野は、薬の動態を利用して有効に届けるという、ドラッグデリバリーシステム(DS)の意味合いで「薬物送達学」と呼ばれています。「薬は異物ですから、私たちの体の防御機能が働きます。この研究をしていると、哺乳類にはまだまだ明らかでない生体機能がたくさんあ

ることがわかります。同時に、こんな薬がここで分解できるのかと、酵素の機能でも新しい発見ができ、次の発展につながる。そこに研究の醍醐味があります」。研究材料が何であれ、大事なのは自分で取り組むことだと今井特任教授は話します。「壁に当たらない研究なんてありません。壁に当たったら一緒に考え、話し合いながらやってみる。いろんな道を試すことで解決能力が身につけていく。それが研究に挑戦する良さです」。

## 私のリフレッシュ法!

海外に行くと、きれいなので絵本をよく購入。なんと書いてあるのか、わからない言語の本もいっぱいです(笑)。





## lab's data

【大学院人文社会科学  
研究部(法学系)】

□ 修論・卒論テーマ

< 卒論テーマ >

離婚、結婚に対するアンケート調査、禁煙に関するアンケート調査、景気回復実態に関するアンケート調査など

< 修論テーマ >

労働紛争の斡旋についての研究、学校のいじめに関して保護者がどうかかわるべきかの聞き取り調査など

□ メンバー

准教授 1 人、学部 4 年生 13 人、3 年生 12 人



## Interview



法学部法学科4年  
むらい こうけい  
村井 宏丞さん(左)

法学部の中で、法律に関する専門的なことばかりではなく、他のこともやってみたいと思い、法社会学のデータ分析ができるこのゼミを選びました。森先生は、とても穏やかで優しい先生で、怒られたことは一度もありません。

3年で基礎的なことを学び、4年になっていよいよアンケート調査に取り組みます。私のテーマはネットメディアの若者への影響。法学部の学生に協力してもらって、若者がネットメディアの情報をどれくらい信用していて、それがどんな影響を与えるのかを分析します。

法学部法学科4年  
はなて みさき  
花立 美咲さん(右)

統計学を扱うことに魅力を感じてこのゼミを選びました。3年生で、統計ソフトを使った分析の仕方など基礎的なことを学び、4年生になって、テーマを決めて調査を始めます。私のテーマは飲酒について。成人年齢が引き下げられますが、飲酒年齢は20歳のままであることについて、社会ではどう考えられているかを調査します。

ゼミで学ぶ中で、数字から何かを読み取り、数字の意味するものが理解できた時、とても魅力を感じました。将来は、いったん海外に出て、英語や海外文化を学び、大学で学んだことも糧にして世界とかわかる仕事に就きたいと考えています。

### 新法や法改正の効果を明らかにする分析

法学部で法律を学ぶと聞けば、民法や刑法を読みとく解釈するか、などの授業を連想しますが、森大輔准教授の専門は法社会学。法と社会の関係を、データ分析を通して明らかにすることを中心とした分野で、法学部のゼミでは少々異色の存在です。「たとえば、運転中のシートベルト着用を義務化する法律を導入して、事故は減ったのか。シートベルトをすることで安心し、かえって危険運転が増えたのではないか。それを頭で考えていてもわかりません。法律導入前の事故データ、導入後のデータを分析することで、その法律が本当に効果を上げているのかがわかります。データ分析を通して、その法律が社会に合っているのかどうかを考える学問です。」

法律は、社会に暮らす人々が意識しなくても従えるような、納得できるものでなければならぬと森准教授。「その法律を守らないか

### 説得力をもって 何かを提示できる そんな力を身につけて

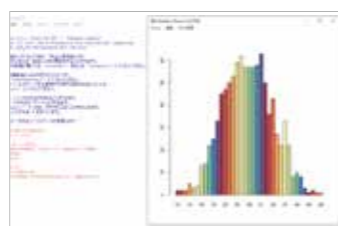
データ分析は、経済学の計量経済学、政治学の計量政治学、そして心理学の心理統計学などあらゆる分野にあり、理論と現実が合致しているかを見るために必要な手法だと森准教授。法社会学におけるデータ分析では、たとえば、法律により変わったこと、変わらなかったこと、変わらなかった場合はその理由も分析します。法律が目的を達していない意外な理由が明らかになることも。それが、法社会学におけるデータ分析の醍醐味だと言います。「仮説を立て、データを集め、検証する時、自分が立てていた仮説とは

違う結果が出ることも。でも、それはそれで一つの発見なんです。」

ゼミでは、3年生で分析の手法など基本を学び、4年生で実際にテーマを決めてアンケート調査を実施し分析を行います。「4年の終わりには、私が見ても説得力のある分析を見せられたり、わかりやすいグラフを用いるなど発表の仕方も身につけています。そんな時、成長を感じますね。自分の望む結論に導こうとするあまり、ミスリーディングな質問を行ってしまったり調査に気づく、というような力もついてきます。」

公務員になる人も民間企業で働く人も、政策や計画を立て実行させたい時、データ分析を通して推計を示すことができれば、説得力をもって提案できると森准教授。データ分析は、たとえそれを専門とした職業ではなくても必ず役に立つ。そんな視点で学んでほしいと話してくれました。

## 密着！森研究室



データ分析で使用する統計ソフト「R」。毎回授業で使用しています



名城大学(愛知県)法学部との合同ゼミ。訴訟行動調査について一緒にデータ分析を行いました



# 研究室探訪

Laboratory Report

法律が、その目的を  
果たしているか。  
データ分析で  
明らかにする法社会学



# こんな使い方、知ってますか？ 熊大図書館の歩き方

講義や研究に役立つ多くの蔵書を備えている熊本大学附属図書館。いろいろなイベントで楽しませてくれたり、便利な使い方もあるんですよ。

熊本大学附属図書館  
公認キャラクター「くまぼん」

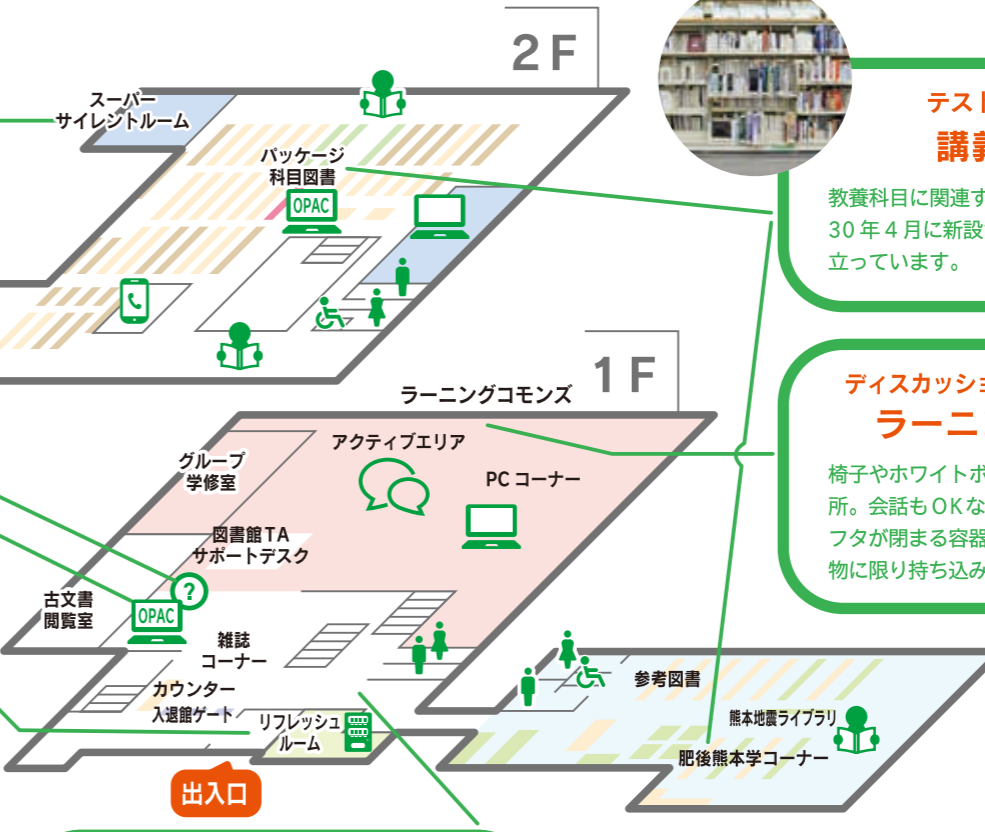


## テストも講義も安心！ 講義関連図書

教養科目に関連する参考図書があります。平成30年4月に新設され、主に1年生の講義に役立っています。

## ディスカッションして学びを深めよう！ ラーニングcommons

椅子やホワイトボードを動かして学習できる場所。会話もOKなので、相談や議論もできます。フタが閉まる容器に入った飲み物に限り持ち込みできます。



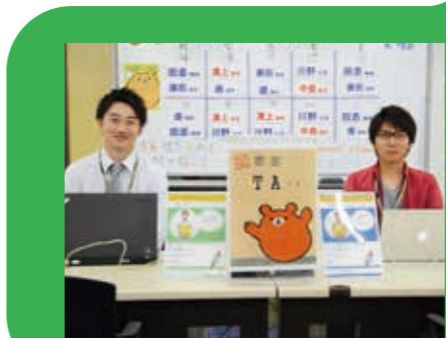
## オススメ図書でトレンドがわかる ロビー展示

定期的に、テーマに沿ったおすすめ図書をロビーに展示しています。研究だけでなく、毎日の暮らしに役立つ本もおいていますよ。



## パソコンの使い方から レポートの書き方までお手伝い！ ティーチングアシスタント(TA)

平日の16～19時、図書館に常駐してさまざまな相談にのってくれるのがTA。今年は工学系メンバーが多く、実験のアドバイスなどもしてくれます。「新生入からレポートの書き方を聞かれたときは、ひな形をみせてアドバイスしました」と語るのは大学院自然科学研究科社会環境工学専攻博士前期課程2年の川野倫輝さん(写真右)。また、大学院教育学研究科教職大学院2年の溝上裕也さん(写真左)は「どんな授業をとったらいいか、履修登録の相談にのりました」と語ります。英語もOKなので、留学生からの相談も受け付けられます。迷ったときは、まず、相談してみるとよいですね。



人や場所を活用し  
図書館を学びに役立ててください！

大学の図書館は、本を借りるだけでなく、研究や学びに活用するための場所だと思っています。例えば、講義に必要な本や資料、研究に使う文献を効率的に探せるのは、図書館ならではの、文献探しをサポートするレファレンスやTAにもっと相談してほしいですね。さらに、楽しく本にふれる場所でもあるので、新しい本との出会いを提供するのも私たちの役割。選書やロビー展示などのイベントも行っているのでも、ぜひ、参加してみてください！



利用支援担当  
上原 秀平さん

## 集中したい人はココへ！ スーパーサイレントルーム

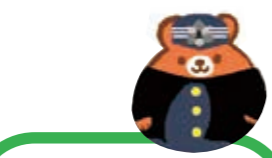
基本的に静かな図書館の中でも私語厳禁の場所。集中してレポートや論文に取り組みます。

## インターネットで、どこでも蔵書検索 OPAC

学外からも検索可能なオンライン蔵書目録。附属図書館のホームページから検索できます。

## ランチもおやつもOK！ リフレッシュルーム

飲食OK。勉強中の息抜きができます。自動販売機も設置しています。



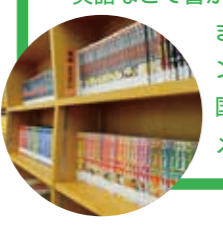
## 資料探しはおまかせ！ レファレンスデスク

レポートや論文に必要な文献の検索や各種資料の探し方をお手伝いします。熊大にない資料も取り寄せられます。



## マンガも文学作品も英語で！ 外国語読本

留学生向けに、日本文化について英語などで書かれた本を集めています。文学作品やマンガもあるので、外国語学習にもオススメです。

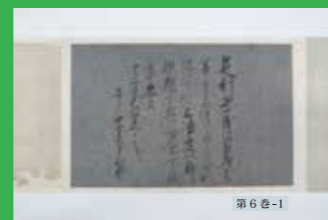


※B1F、B2Fの地下書庫には、和洋雑誌や参考図書などがあります。

## 体系的に藩政資料が研究できる 貴重資料

熊大図書館には、「永青文庫」(寄託)や「松井文庫」(所蔵)など、多くの貴重資料が保管されています。特に、藩政に関する資料は、行政の上から下まで体系的に保管されており、全国的にも注目される研究がすすめられています。

阿蘇家文書(国指定・重要文化財)  
「足利尊氏を討伐せよ」  
後醍醐天皇



### 【イベント】

## 図書館を楽しむ いろいろなイベント

「図書館の使い方を楽しく知ってほしい」と、図書館ではさまざまなイベントも行われています。その1つが、謎解きラリー「くまぼんからの挑戦状」。問題を解くとわかる指定のスポットをまわり、キーワードを集める、というものです。ちょっとむずかしい問題もあり、楽しく図書館の魅力が学べます。



くまぼんからの挑戦状  
新生利用ガイダンスの課題として実施されました。

### 【選書員制度】

## 私のオススメの 1冊を図書館に！

「図書館にあの本がほしい！」という人におすすめなのが、学生選書員制度。ほしい本のリストを作ったり、実際に図書館におきたい本を書店で選ぶツアーなどが行われています。

### 【電子資料】

## 図書館資料は 紙だけじゃない！

本や雑誌が電子版で読めるのが電子ブックや電子ジャーナル。手に入りにくい研究用の専門雑誌も揃っており、図書館のホームページから利用できます。

医学部と薬学部には、それぞれの専門書や和洋の専門雑誌を多く揃えた、医学系分館、薬学部分館があります。

熊大図書館の開館時間、サービス時間、詳しい利用方法などは、熊本大学附属図書館のホームページをご覧ください。





「グローバル課外教育プログラム」について聞きました！

GLC Foundation Seminar

Q | どんな魅力がありますか？

A | 英語習得のモチベーションがアップします

GLC Foundation Seminarでは外部の講師を招いての講話、留学生ウエルカムパーティーなどの楽しいイベントだけでなく、留学生とGLCの学生のグループディスカッション等もやりました。英語ができないと誰とも話せなくて面白くないので、頑張って英語ができるようにならざるを得ません。そのため、勉強のモチベーションが上がります。共に学ぶ仲間ができて、励まし合いながら勉強方法を工夫できたのも良かったです。週1回の開催だったので事前に準備もでき、向上心を保つことができました。



答えてくれた人 たなか ゆうだい  
理学部2年 田中 湧大さん



聞いた人  
文学部1年  
にしきどきょう  
錦戸 響

海外インターンシップ

Q | どんな効果がありましたか？

A | 自分の進路を考えるきっかけに！

平成29年8月に、中国の香港で1週間のインターンシップに参加しました。研修先は株式会社杉養蜂園さんで、香港のFOOD EXPOで出展ブースの設営から接客までやらせてもらいました。最初は英語が通じるか、企業の人と一緒にやれるか等不安に思っていたのですが、意外とちゃんとコミュニケーションがとれ、企業の方も親切にしてくださったので楽しい日々でした。歴史学科志望だったのですが、今回のインターンシップのおかげで、より一般企業に近い学科で学びたいと、今の学科（コミュニケーション情報学科）を選ぶきっかけになりました。



答えてくれた人 おかむら つよし  
文学部2年 岡村 烈志さん



聞いた人  
文学部1年  
ゆた  
矢田 伶

海外短期留学

Q | 留学を経験して、どんなことを感じましたか？

A | 「英語をもっと身につけないと！」という思いが強くなりました

平成30年2月19日～3月4日までGLCの20人でインドネシアに短期留学しました。スラバヤ工科大学で、現地の学生とリーダーシップについて学ぶプログラムです。インドネシアの文化や言語を学んだり、在スラバヤ日本国総領事館で講話を聞いた後、課題解決学習として、市のIT学習施設の受講生獲得策をグループで考えました。現地の学生は積極的で、どうやって自分が社会に貢献していくか具体的に考える等、非常に刺激を受けました。また、英語をもっと勉強しないと！と痛感しました。



答えてくれた人  
法学部2年  
もりかわ まほ  
森川 真帆さん



答えてくれた人  
工学部2年  
ごせ たいき  
五瀬 大輝さん



聞いた人  
法学部1年  
むらかみ ゆうと  
村上 雄飛



平成30年6月にGLC2期生と留学生、計60名が参加した「GLC天草合宿」

グローバルリーダーコースの  
ミラクルの  
グワク!

学生企画

センパイたちに聞いた

私たちが取材しました!  
GLC2期生



入った後、  
どうなるの？

「GOKOH School Program」で  
グローバルリーダーを目指す

「GOKOH School Program」は「グローバル学修プログラム」と「グローバル課外教育プログラム」の2つに区分されます。  
「グローバル学修プログラム」は教養教育・専門教育で構成され、GLC学生は英語による教養教育科目を一般の学生より多く履修します。  
「グローバル課外教育プログラム」は、授業だけでは修得が難しいクリティカル・シンキング、国際対話力、情報発信力、創造的知性、リーダーシップを培う特別プログラムです。正規の授業だけでは修得できない Human Skill を体得できます。

GLCって何？

『確かな専門性とグローバルな  
視点を持った人材』を育成します

平成29年度に文学部・法学部・理学部・工学部の4学部にて、新たに設置されたコースです。  
独自のカリキュラムである「GOKOH School Program」により、多様な価値観を受け入れられる豊かな教養と国際感覚、確かな専門性と柔軟性のある創造的な思考力を身につけ、国内外における地域の課題をグローバルな視点で考え、果敢に行動できる人（グローバルリーダー）を育成します。  
GLCの入試は、1次選抜で書類審査を実施します。2次選抜では、英語による面接、グループワーク、論述審査や口述審査を実施します。  
出願期間：平成30年9月7日（金）～13日（木）  
選抜期日：平成30年10月13日（土）・14日（日）

オープンキャンパス当日、  
グローバル教育カレッジ棟で説明会を開催

平成30年8月4日 土



詳しくはこちら▶

GLCについては  
熊大通信65号でも  
紹介しています！

熊大通信 65号

GLCのよいところ

- 1 学部を越えて学習ができ、視野が広がる
- 2 独自の課外活動が充実している
- 3 海外インターンシップや海外短期留学がある



## 文学部 | お客様の笑顔をやりがいい 多様な地域の魅力を知る旅行を提供



### 岩本 千秋

Chiaki IWAMOTO

株式会社読売旅行  
熊本営業所

文学部文芸科超域言語文学コース  
平成27年度卒

平成5年生まれ。長崎県大村市出身。長崎県立大村高等学校卒業後、熊本大学へ入学。幼少期に父の転勤のため全国を転々としたことがきっかけで「移動」に興味を持ち、卒論では「越境」などをテーマに執筆。趣味は旅行や友人との食事。

### 熊大のココがイイ！

総合大学だからこそ、さまざまなバックグラウンドを持ったいろいろな学部の人と交流できる！街も近くて地域の方との交流もできます。

### 興味のある英語に限らず いろいろな文化を学びたいと文学部へ

英語に興味があり、英語教員になりたいと思っていました。当時は教育学部に進むことを考えていましたが、いろいろな大学や学部を調べるうちに、英語に限らずさまざまな文化を学びたいと思うようになり、熊本大学文学部を志望しました。

### よさこいに没頭 大切な仲間にも出会えた

よさこいサークル「肥後真狗舞」に入り、仲間とともに九州内外のよさこい祭に出場してました。毎年3月末には、主催するよさこい祭の運営にも力を注ぎました。よさこい漬けの毎日でしたが、現在もつながっている大切な仲間に出会えたことは一番の思い出です。また4年次後期にはほぼ毎日研究室に通い、仲間たちと励まし合いながら卒論執筆に力を入れました。

### ツアー造成から添乗まで 旅行にかかわるすべての業務に従事

大学の授業でさまざまな地域の文化に触れ、今後もその魅力を発信したいという思いから旅行会社を志望。現職では受付・ツアー造成・国内海外添乗・航空券などの手配等、旅行にかかわるすべての業務を行っています。メイン業務として日帰りバスツアーの企画を担当。現地見下りから添乗まで、お客様の笑顔が一番のやりがいに、がんばっています。

## 医学部 | 放射線治療で臨床に携わりつつ、 学生指導や研究続行にも力を注ぐ



### 日置 一成

Kazunari HIOKI

広島大学病院  
診療支援部放射線治療部門

医学部保健学科  
放射線技術科学専攻  
平成23年度卒  
大学院保健学教育部博士前期課程  
平成25年度修了

平成元年生まれ。熊本県菊池郡大津町出身。私立熊本マリスト学園高等学校から熊本大学を経て同大学院博士前期課程へ。臨床・研究・教育の共立を目指し、現在は広島大学病院で勤務しながら熊本大学院博士後期課程にて修学している。

### 熊大のココがイイ！

熊本の自然と人の温かさに囲まれて、伸び伸びと自分のやりたいことができること。

### 高校で、実際に放射線治療を 見たことが進路選択のきっかけに

幼い頃から研究者として人の役に立つ研究を行うことに強い憧れを持っていました。高校で、漠然と医療関係で進路を探しているときに、実際に放射線治療を見せていただく機会があり、がん治療の3本柱の一つである放射線治療の研究を行うことで人の役に立ちたいと考え、診療放射線技師を目指しました。

### 4年生からは研究中心。 大学院で、研究者としての基礎を学んだ

大学では、勉強だけではなくサークルやアルバイトなど、何事にも全力でとても充実した4年間でした。4年生からは本来の目的であった放射線治療の研究室に入り、研究中心の生活に。朝まで研究室で過ごしたこともありましたが、大学院では、海外の学会で発表したり、英語論文を執筆したりと、研究者としての基礎を学ぶことができました。

### 臨床での疑問点を、自分自身で 研究し、さらに役立つ治療へ

現在は、広島大学病院にて診療放射線技師として患者さんの治療に携わりながら、放射線技師を目指す学生の教育や放射線治療の研究を行っています。臨床での疑問点を自身で研究することが、さらに役に立つことを実感しながら、日々精進しています。4月からは大学院博士後期課程に入学し、さらなるステップアップを目指したいと考えています。

## 薬学部 | 化学製品の材料や医薬品材料の 安定供給の一翼を担う



### 松野 嵩

Takashi MATSUNO

三洋貿易株式会社(東京都)

薬学部 薬科学科  
平成19年度卒  
大学院薬学教育部博士後期課程  
分子機能薬学専攻  
平成24年度修了

昭和60年生まれ。福岡県久留米市出身。私立久留米大学附設高等学校から熊本大学へ。大学院へ進学し、博士後期課程中にアメリカ留学を経験。趣味はフットサル。最近ではゴルフを練習中。

### 熊大のココがイイ！

人の良さ。先生たちとの距離も近く、アットホームな雰囲気がある。

### 高校の卒業生の講演で 医薬品の研究開発に興味

高校1年生の時、卒業生を招いた高校の50周年記念イベントがありました。そこで聞いた、製薬企業で働く卒業生の講演が、薬に興味を持ったきっかけです。製薬企業で医薬品の研究開発に携わりたいと思い、薬学部への進学を決めました。

### 博士課程時代にはアメリカに留学 最先端の研究に触れた

研究室へ配属後は、日々の研究に加え毎朝7時半からの論文紹介セミナーなど、忙しい日々。博士課程時代には研究員としてアメリカへ留学、最先端の研究に触れることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。研究生生活を通じて得ることのできたプレゼン能力、グローバルな知見、英語力は、現在の仕事にも生きています。

### 薬学の知識も活かし 顧客の要望に応じた原料探索も

現在は化学品の専門商社で働いています。塗料・インキ、プラスチックなど化学製品の機能性原料を国内外から仕入れ、国内メーカーに販売しています。また、薬学部出身というバックグラウンドを活かし、医薬品の原料も取り扱っています。新薬及びジェネリック医薬品向けの原料を、顧客の要望に応じて主に海外から探索して紹介し、医薬品安定供給の一翼を担うべく日々奮闘しています。

## 理学部 | 論理立てて思考することが好き SEとして、ロボット分野でも活動



### 中村 康秀

Yasuhide NAKAMURA

株式会社システムソフト  
(福岡県)

理学部理学科  
平成24年度卒  
大学院自然科学研究科博士前期課程  
数学専攻 平成26年度修了

平成2年生まれ。長崎県五島市出身。長崎県立五島高等学校を卒業。SEとして主にJavaやPHPにて開発。現在はRPAに力を入れています。好きなフォントはメイリオです。

### 熊大のココがイイ！

いろんな体験ができる、可能性のあるすばらしい大学だと思います。

### 高校時代の夢は学者 理学全般が学べる熊本大学へ

私の夢は、学者になることでした。学問は定まっていませんでしたが、理系もしくは数学かなと思い、勉強していました。当時から物事を論理立てて思考することが好きで、「考える」仕事に就きたいと思っていました。熊本大学に進学したのも、「理学部理学科」という、理系全般的な学びができるということが大きな理由でした。

### 初めての体験ばかりの大学時代 責任と自由のある一人暮らしも満喫

いろんな体験をした大学生活でした。塾講師のアルバイトや、学園祭で遠歩に参加したり、初めての体験ばかり。一人暮らしということもあり、さまざまな責任を伴いながら、楽しく生活しました。私は割と真面目に勉強していたほうだと思っていますが、今となっては勉強以外にも、もっといろんな体験をしてあげよかったです。ということもあります。

### システム開発や保守を行うSE 日本全国に事業を展開

私は現在、SE(システムエンジニア)をしています。簡単にいうと、世の中のさまざまなシステムの開発、保守等をする職業です。みなさんに縁のあるシステムも作ったことがあるかも知れませんが、現在はRPAというロボット分野で活動しており、福岡はもちろん遠くは北海道にも事業を展開しています。

## 法学部 | ビジネスの相手国は150の国と地域 企業法務で世界中のビジネスを支える



### 樋口 賢吏

Eiri HIGUCHI

株式会社LIXIL(リクシル)  
グローバル法務統括部  
統括部長(東京都)

法学部法律学科 国際関係コース  
昭和58年度卒

昭和35年生まれ。福岡市出身。佐賀県立佐賀西高等学校卒業。熊本大学卒業後、日本ビクター(株)、(株)スクウェア・エニックス・ホールディングスを経て、現職。趣味は、ワインを飲むこととワインナー巡り。

### 熊大のココがイイ！

五高の歴史と自然に囲まれたすばらしい環境で勉強できること。先生やスタッフの方のサポートも、アットホームな環境で交流できることだと思います。

### テレビの国際報道番組で 海外での仕事に憧れた

テレビの国際報道番組を観て、外国語を使って取材や放送ができるジャーナリストに憧れていました。また、海外特派員等、海外に住んで仕事をしたいと思っていました(結局、企業法務という道に進みましたが、いつか何らかの形で夢が叶うといいなあ)。

### 国内法に加え、国際関係全般を勉強 英語力も鍛えた大学時代

海外で仕事をしたいという夢もあって、法学部では、当時の「国際関係コース」を専攻。国内法に加えて、国際法、国際政治、英米法、外書講読等国際関係全般を学ぶことができ、今の仕事にも大変役立っています。ESS(英語会話研究部)に所属して、ディベートやスピーチなどに没頭しつつ、他大学のESSと交流するなど、非常に充実した4年間でした。

### 現在はグローバル法務責任者の立場 海外生活は12年以上に

卒業後、電機メーカー、エンタテインメント企業を経て、2年前からLIXILのグローバル法務の責任者を務めています。電機メーカーでは、マレーシアやアメリカに駐在し、海外生活は12年以上になりました。現在はLIXILのグローバル法務の責任者として、契約交渉、訴訟、知財、通商問題等を担当しています。ビジネスの相手先は、世界150カ国・地域に及び、発展途上国にトイレを提供する活動にも全社で取り組んでいます。

## 工学部 | 入庁後2週間で熊本地震。支援を 忘れず、今は熊本から元気を発信！



### 入田 徹

Toru NYUTA

熊本市都市建設局  
建築住宅部 営繕課

工学部建築学科  
平成25年度卒  
大学院自然科学研究科博士前期課程  
建築学専攻 平成27年度修了

平成4年生まれ。熊本市出身。私立熊本学園大学付属高等学校から熊本大学を経て熊本大学大学院へ進学。地元熊本の発展に貢献したく熊本市役所へ入庁。将来の夢は幸せな家庭を築くこと。趣味は野球、ドライブ。

### 熊大のココがイイ！

尊敬できる先生方、全国で活躍する先輩方がいること。

### 自分の家を設計してみたい そんな気持ちから建築学科へ

高校時代は野球部に所属していたため、甲子園に出場したいという思いから、とにかく部活動に打ち込んでいました。部活を引退後に将来の夢を考え、住まいに関して興味があったこと、立派な家を自分で設計し住みたいという目標から建築学科に進学しました。

### 夜通し図面を引き、一緒に旅行にも。 友人たちとは、今もいい仲間同士

大学時代には、気心の知れた仲間ができました。学校で夜通し図面を引き、模型を作成したり、友人と一緒にいる時間がとにかく長かったです。海外旅行にも行きました。友人は熊本県外で活躍している人がほとんどですが、現在も連絡を取り、集まっています。大学院では、コンクリートに関する実験を繰り返しました。また、先生のバックアップもあり建築士の資格を取得できました。

### 大変でも、貴重な体験となった熊本地震 復旧・復興に励む人々に力をもらった

大学院を修了し、入庁後2週間で熊本地震を経験しました。避難所の運営、物資の運搬、被災された方への支援業務等、これまで経験したことのない仕事の連続でした。それでも、復旧・復興活動に励む方や、多くの支援を目の当たりにして、力をいただきました。これまでいただいた応援を忘れずに熊本から全国へ元気を発信したいです。

# 卒業生 ジャーナル GRADUATES' JOURNAL

本学の卒業生たちの今に迫る「卒業生ジャーナル」。

熊本県内はもとより、国内外で活躍している

先輩たちの様子を、これまでの歩みや苦勞、

そして喜び、楽しみなどを通じてご紹介します。

## 教育学部 | 高校の国語の先生の姿に触発されて 夢だった教師の道で奮闘中！



### 岩坂 悠希

Yuki IWASAKA

水川町立竜北西部小学校 教諭  
(熊本県)

教育学部小学校教員養成課程  
平成29年度卒

平成7年生まれ。熊本県八代市出身。熊本県立済々黌高等学校卒業後熊本大学へ。教師は幼いころからの夢。趣味は料理で、ライブや音楽フェスに行くのも好きです。

### いきいきと授業をする先生を見て 「自分もそんな風になりたい」

高校生の頃は、高校の国語の教員になりたいかったです。先生になりたいという夢は小学生のころから抱いていたのですが、高校の時に出会った国語の先生が毎日いきいきと楽しそうに授業をしているのを見て、自分もそんな風になりたいと思うようになりました。

### 「一生もの」と思える友だちを たくさん得られた大学時代

バンドサークルに所属していて、サークル漬けの日々でした。バンドの練習をしたり、他県にライブを見に行ったり、時にはサークルの友人たちと旅行に行ったりと、とても充実した大学生活を送ることができました。学部4年になってからは、教員採用試験の勉強を通じて学科の友達も増え、大学では一生ものの友達がたくさんできたと思います。

### 少しずつ仕事に慣れつつある毎日 子どもたちの笑顔が自分の活力

現在は、小学校教員として、忙しくも充実した日々を送っています。まだまだ分からないことも多いですが、職場の先輩の先生方がいつも優しくアドバイスをサポートしてくださり、少しずつ仕事に慣れていっているところです。子どもたちの笑顔を見ることが自分の活力になっています。

### 熊大のココがイイ！

四季が豊かなところ。イチョウの季節のキャンパスが好きです。



**INFO** 平成30年度熊本大学オープンキャンパスを開催します

各学部の説明会や研究室・施設等の見学、インターネット出願体験及び在学生による企画等を実施します。

【開催日時・場所】  
平成30年8月4日(土) 黒髪キャンパス(文・教育・法・理・工学部)  
平成30年8月10日(金) 本荘、大江キャンパス(医・薬学部)  
【参加対象者】  
高校生(2年生以上のみ参加可の企画有り)・保護者等  
【申込方法】  
個人による事前申込みは不要  
団体バスによる参加については、本学HPよりお申し込みください。  
申込み多数の場合、バスによる入構をお断りする場合があります。  
【参加費】 無料  
【問い合わせ先】  
熊本大学学生支援部入試課  
TEL:096-342-2146  
E-Mail:nyushi@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
【URL】  
<https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/daigakuannai/opencampus>



**INFO** 熊本大学五高記念館文化講座2018を開催します

地震の被害により開催を見送っていた五高記念館文化講座を再開します。  
夏目漱石、ラフカディオ・ハーン、近代建築、明治の町並みについてわかりやすく講演いたします。

【問い合わせ先】  
熊本大学五高記念館  
TEL:096-342-2050  
FAX:096-342-2051

E-Mail:goko@kumamoto-u.ac.jp  
【URL】  
五高記念館ホームページ  
<http://www.goko.kumamoto-u.ac.jp>

【開催日時・場所】  
①9月19日(水) ②9月26日(水)  
③10月3日(水) ④10月10日(水)  
10:00～11:30  
放送大学 熊本学習センター 講義室1  
(熊本大学附属図書館南棟3F)  
【参加対象者】 一般の方  
【申込方法】 事前申込は不要  
【参加費】 無料



熊本大学五高記念館文化講座2015 講座の様子

**INFO** 女子中高生の理系進路選択支援プログラム2018「はばだけ!熊本サイエンスガールズ Girls,Enjoy Science!」の講演会を開催します

女子中高生と保護者、教員を対象にした「女子中高生が理工系キャリアを目指すための夢創り」を応援する企画です。本学を卒業した女性社会人と女子大学院生の講演会と理工学部の研究室訪問を行います。  
講演会は、学生、教職員、一般の方の参加も歓迎します。

【開催日時・場所】  
「聞いてみんね、みつねね! 理系のロールモデル」  
平成30年7月21日(土) 熊本大学工学部百周年記念館  
13:30～15:30 講演会  
15:30～16:00 研究室訪問(要申込)  
【問い合わせ先】  
熊本大学大学教育統括管理運営機構  
TEL/FAX:096-342-2846  
E-Mail:girls\_sci@kumamoto-u.ac.jp  
【URL】  
詳しい内容はホームページをご覧ください。  
<http://hqac.kumamoto-u.ac.jp/GIRLS/>



**REPORT** 第102回日本陸上競技選手権大会で3位入賞しました

平成30年4月15日に石川県輪島市で開催された、第102回日本陸上競技選手権大会50km競歩に倉原菜摘さん(教育学部3年)が出場し、3位入賞しました。

本大会は、国内では初めて女子50km競歩が開催される記念すべき大会。時折強い雨風が吹く悪天候の中、最後まで諦めずにゴールを目指しました。

倉原さんは「これほど長時間にわたる勝負をするのは初めてで、試合が近づくにつれて楽しみに思う気持ちが緊張感へと変わっていききました。練習はしっかりと積んできたつもりでしたが、本番では硬くなってしまい、想定より早い段階でペースダウンしてしまったことが悔しいです。」「この競技をするにあたって、本場に多くのサポートや応援をいただき、自分のやりたいことを精一杯やらせてもらえること

の幸せを改めて感じました。また、レース後もたくさんの労いの言葉やお祝いの言葉をかけていただき、本当にこの競技に挑戦してよかったと思えました」と悔しさを語るとともに、周囲の支えを受けながら競技できる喜びも語っていました。



©フット・キシモト

また、今後の目標として「ロードでもトラックでもトップ争いのできる選手になりたいです。少しでも大きな舞台で活躍して、応援してくださる方々に良い報告ができるように頑張ります」と力強く語ってくれました。



(左から) 陸上競技部顧問の井福裕俊教授(大学院教育学研究科)、倉原さん、原田信志学長、中川保敬シニア教授(大学院教育学研究科)

**REPORT** 文部科学省情報ひろば企画展示イベント「近世熊本城の被災と修復」を開催しました

平成30年5月18日、文部科学省情報ひろばラウンジにおいて公開セミナー「近世熊本城の被災と修復」を開催しました。これは同省情報ひろば企画展示に関連するイベントとして開催したものです。永青文庫研究センター 稲葉継陽教授が江戸時代に相次いで発生した地震により被災した熊本城の状況、熊本藩主の対応、幕府とのやりとりなど、歴史資料の調査成果に基づき講演を行った後、熊本県キャラクターくまモンが登場し、稲葉教授への質問を行うなどして来場者を楽しませました。また、企画展示は同省新庁舎2階エントランスにて6月22日まで開催されました。石垣の被災箇所を示す絵図や城の明け渡しについて藩主の意思を伝えるための文書のレプリカなどを展示しました。



講演を行う稲葉継陽教授



稲葉教授の説明を熱心に聞くくまモンと来場者 ©2010熊本県 くまモン 協力 銀座熊本館

**REPORT** 大学院生命科学部附属健康長寿代謝制御研究センター発足式及びシンポジウムを開催しました

平成30年5月1日に設置された大学院生命科学部附属健康長寿代謝制御研究センターの発足式及びシンポジウムを5月2日に開催しました。

シンポジウムに先立ち、医学総合研究棟にて発足式が行われ、原田信志学長、安東由喜雄生命科学部部長、山縣和也健康長寿代謝制御研究センター長の挨拶の後、看板掲揚を行いました。

その後、山崎記念館へ場所を替え、「くまもとから目指す健康長寿社会」をスローガンに、ワシントン大学医学部教授の今井眞一郎氏並びに東北大学教授の片桐秀樹氏による特別講演が行われ、集まった105人の研究者は熱心に研究内容に耳を傾けていました。

また、シンポジウムでは、生命科学部教授によるディスカッションも行われ、日頃の研究の取り組みを発信する場となりました。



(左から)竹屋元裕理事・副学長、原田信志学長、安東由喜雄生命科学部部長、山縣和也健康長寿代謝制御研究センター長



キックオフシンポジウム「くまもとから目指す健康長寿社会」



## 熊本大学基金へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

№4 2 (平成30年2月1日～平成30年4月30日)

卒業生の皆様、在学生の保護者の皆様、法人・団体等の皆様、本学の退職者及び教職員の皆様から、これまでに約13億7163万円(平成30年4月30日現在)のご寄附をいただき、研究・教育に資する事業に取り組みさせていただきました。また、平成28年の熊本地震復興事業基金へのお寄せいただきました寄附金は、熊本大学の復興に向けて、被害学生へ対する修学支援や被災しました建物の修繕費、設備・機器の更新・修理費のために、大切に活用させていただきます。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

今号では、平成30年2月1日から平成30年4月30日までの間に入金を確認させていただきました個人197名、11法人・団体等の寄附者すべての皆様へ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。公開を希望されない寄附者の皆様につきましては、掲載しておりません。

また、万一お名前に記載漏れがある場合は、誠に恐縮ではございますが、基金事務局(電話:096-342-2029)までご連絡ください。

皆様の更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 1. お名前・寄付金額の掲載

(寄附金額別、五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。) ※( )内の数字は、累計寄附金額(万円)です。

#### <熊本大学基金>

【100万円】	上田 京二(1100)								
【85.18万円】	熊本大学工業会会員有志(1151.86)								
【10万円】	熊本漢方研究会(10)								
【5万円以下】	甲斐 正彰(2)	河野 隆幸(0.5)	土田 秀次郎(1)	夏木 良博(2)	野口 健一・恭子(1)	野口 博司(11)	橋本 政彦(1)		
	肥後 公一(0.5)	村上 健太郎(11)	本島 昭男(12)	森 弘昭(1)	矢嶋 尚子(0.5)				

### 2. お名前のみ掲載

(五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。) ※[ ]内の数字は、累計寄附回数(回目)です。

#### <熊本大学基金>

安倍 昂洋	荒井 澄子[5]	泉田 紀久子	一瀬 文子	井戸 貴大	井戸 理咲子	今井 博昭[11]	今田 信子
岩津 昭夫	岩本 孝一	上塚 高弘[7]	牛島 恭一	江頭 義彦	岡本 聖子	小野 裕貴	海藤 明子
柏尾 俊明[2]	金戸 清高[2]	金戸 愛香	川上 五郎	川上 陽一郎[2]	川島 扶美子	神崎 芳郎[6]	木村 純久[5]
熊井 慶蔵	倉永 雅彦	桑本 知明	小出 力[2]	上妻 直樹	児倉 静二[3]	小林 大介	小森田 安信
小山 由理亜	坂井 和幸	坂田 満生[13]	佐々木 惣一郎[3]	佐々木 信生[2]	笹原 弘[2]	佐藤 伸子[2]	塩尻 伸子
司城 宏太郎	鶴田 善一	藤堂 ミキ	友成 久雄[2]	中島 大輔	西 純子	西 祐世	馬場 剛
原田 昭宏	秀島 敏行[3]	日吉 誠一[3]	福永 恭子	富士川 晶与	藤村 重利[2]	古川 雄也[2]	益田 早智子
養田 真幸[15]	宮崎 敬一	向山 政志	森本 ハツ子	安田 宏正[3]	山田 治子[2]	吉田 道雄[2]	吉田 悠莉
米村 和広							
一般財団法人恵和会	株式会社再春館製薬所[3]		熊本県女性薬剤師会[2]			昭和41年薬学部卒業生有志一同	

#### <熊本地震復興事業基金>

岡島 哲郎[3]	岡島 寛[6]	西村 洋介
----------	---------	-------

### 3. お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人114名、4法人・団体等

## 第15回中学生を対象とした夏休みの自由研究に関する技術相談会を開催します

中学生を対象に夏休みの自由研究について、熊本大学の教職員が相談員となって、大学内の実験施設・設備を利用してアドバイスをを行います。

#### 【開催日時・場所】

平成30年7月29日(日)9:00～17:00 熊本大学工学部百周年記念館

【参加対象者】 熊本県内の中学1・2年生

#### 【申込方法】

パンフレット中の「参加申込書」に、必要事項を記入の上、郵便又は電子メールでお送りください。

申込期限：7月10日(火)(当日消印有効)

パンフレットは熊本県内の中学校に配布しております。パンフレットがお手元に届いていない場合は、以下のホームページの「申込み方法」よりダウンロードして下さい。

#### 【申込先】

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1

熊本大学自然科学系事務課総務担当(佐藤)宛

E-Mail: soudan18@tech.eng.kumamoto-u.ac.jp

【参加費】 無料

【問い合わせ先】

熊本大学工学部(担当:志田)

TEL:096-342-3518

E-Mail:soudan18@tech.eng.kumamoto-u.ac.jp

【URL】 <http://www.tech.eng.kumamoto-u.ac.jp/soudankai/>



## INFO

### 熊本大学IELTS試験を実施します

世界的に広く認められた英語運用能力試験のひとつである IELTS(International English Language Testing System アイエルツ)を熊本大学において実施します。

#### 【開催日時・場所】

平成30年10月13日(土) 熊本大学グローバル教育カレッジ棟

【テストタイプ】 アカデミック・モジュール

【参加対象者】 学生を含む一般の方

【申込方法】

事前申込が必要です。詳細については熊本大学グローバル教育カレッジのホームページをご参照ください。

【受験料】 25,380円(税込)

【問い合わせ先】

熊本大学グローバル教育カレッジ

TEL: 096-342-2091

E-Mail: glc@jimu.kumamoto-u.ac.jp

【URL】 <http://www.c3.kumamoto-u.ac.jp/>



## INFO

### 第9回薬草パーク観察会を開催します

熊本大学薬学部附属薬用資源エコフロンティアセンター(薬用植物園)では、薬用植物に関する講演及び植物観察会を行っています。このイベントは、一般の方々に薬用植物について触れ合っていただくことはもちろん、薬学部で現在取り組んでいる「薬草パーク構想」について知っていただくために行っているものです。

このたび、第9回薬草パーク観察会を平成30年7月7日(土)に開催することになりました。参加申し込み、参加費は不要です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

#### 【開催日時・場所】

平成30年7月7日(土)

13:00～16:00(受付・開場 12:00)

熊本大学薬学部総合研究棟 2F 多目的ホール(熊本市中央区大江本町5-1)

【プログラム】

- 13:00-14:00 講演:『草木と人間』  
乙益 正隆(環境省希少野生動植物種保存推進員)
- 14:00-14:20 開花中の植物の紹介  
山本 匠洋(熊本大学薬学部)
- 14:30-16:00 植物観察会

【注意事項】

- ・駐車場は開放しますが、限りがあるため出来るだけ公共交通機関でお越しください。
- ・蚊が多いことが予想されますので、適した服装でお越しください。
- ・猛暑が予想されますので、熱中症には十分

ご注意ください。

・申し込み不要・参加費無料

【問い合わせ先】

devkotah@kumamoto-u.ac.jp(テブコタハリ)

wata-m@kumamoto-u.ac.jp(渡邊 将人)

【URL】

[http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/Labs/eco-frontier/event\\_seminar/park/](http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/Labs/eco-frontier/event_seminar/park/)



## INFO

### ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～を実施します

大学や研究機関で「科研費」により行われている最先端の研究成果に、高校生の皆さんが、直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムです。

【参加費】 無料

【問い合わせ先】

熊本大学 研究・産学連携部 研究推進課

TEL:096-342-3148

E-Mail:research-coordinator@jimu.kumamoto-u.ac.jp

【URL】

日本学術振興会ホームページ

[https://www.jsps.go.jp/hirameki/02\\_jisshi\\_program.html](https://www.jsps.go.jp/hirameki/02_jisshi_program.html)



昨年のプログラム(須恵耕二:「作って贈ろう全国へ!盲学校用「飛び出す音声地図」のモノづくり教室」実習風景)

プログラム	開催日時場所	対象者	申込方法		申込締切
			Web申込	本学へ直接申込	
子宮頸がんに対するくすりの作用を観察しよう!	平成30年8月11日(土) 大江キャンパス薬学部 宮本記念館	高校生 20名	日本学術振興会HPの「実施プログラム一覧」から参加申込をクリックして、必要事項を入力	有馬 英俊 TEL:096-371-4160 FAX:096-371-4160 arimah@gpo.kumamoto-u.ac.jp	平成30年 7月27日(金)
作って送ろう全国へ! 盲学校用「おしゃべり地図パズル」ものづくり教室	平成30年9月23日(日) 黒髪南キャンパス工学部 研究棟IV	高校生 16名		須恵 耕二 TEL:096(342)3623 FAX:096(342)3630 map2018@tech.eng.kumamoto-u.ac.jp	平成30年 9月4日(火)





### ボートレース (五高記念館所蔵)

1895 (明治28)年、五高に<sup>たんでい</sup>端艇会が設立され、ボートレースがさかんに行われるようになっていった。2代目の端艇部長を務めた夏目漱石も、1897 (明治30)年2月に職員チームで出場し、勝利した様子が新聞で報じられている。

ボートレースの会場は江津湖や緑川で、生徒は授業後に徒歩や電車で通い練習した。江津湖のほとりに<sup>でいこ</sup>はボートを収納する艇庫が建てられており、今はその跡に石碑がある。

昭和になると、文科理科対抗の春季ボートレースは大勢の市民が見物に訪れる大きなイベントとなっていた。前日は、全校で<sup>のぼり</sup>大太鼓や幟を押し立てて街に繰り出し、<sup>おか</sup>陸ボート (縦一列に座り、ボートこぎの動きをすること) で氣勢を上げた。当日には、太鼓の上に乗って指揮をとる応援団長を中心に、応援合戦が行われた。

写真は1924 (大正13)年卒業アルバムのもので、江津湖で行われた舵手1人漕ぎ手4人の舵手付フォアのレースである。

文 薄田 千穂 (五高記念館)

※五高記念館 (国指定重要文化財) は、熊本地震による被害のため長期休館中です。